

病防第52号  
平成20年7月7日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

ヒメトビウンカのイネ縞葉枯ウイルス保毒状況（技術情報第7号）について（送付）  
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、防除指導等にご活用下さい。

記

1 保毒虫調査

県内24地点より採集したヒメトビウンカ及び農業研究センター（合志市）に設置している  
ネットトラップに捕獲されたヒメトビウンカについて、高比重ラテックス凝集反応法により  
イネ縞葉枯ウイルスの保毒状況を調査した（表1）。

本年のすくいとり調査でのヒメトビウンカの保毒虫率は平年よりやや高く、今後イネ縞葉  
枯病の発生に注意が必要である（表2,3）。

イネ縞葉枯病

ヒメトビウンカによって媒介されるウイルス（Rice stripe virus : RSV）によって引き  
起こされるウイルス病。生育初期に感染すると新葉がこより状に巻いて下垂する特有の症  
状（ゆうれい症状）を示し、激しい場合は枯死する。後期感染では穂の出すくみや奇形穂、  
不稔を起こす。

RSVは幼虫、成虫とも保毒・媒介が可能であり、また高率に経卵伝染する。

熊本県農業研究センター生産環境研究所  
病虫害研究室予察指導係（病虫害防除所）  
作 本 TEL 096-248-6490

表1 平成20年度 ヒメトビウンカ保毒虫率調査

地域	植生	採集日	検定数	保毒数	保毒率
熊本市画図	イリアン	6/13	100	7	7.3%
富合町新	麦	5/8	101	6	6.3%
宇土市	麦	5/8	46	2	2.1%
城南町碓	麦	6/4	96	3	3.1%
玉名市伊倉	麦	5/26	96	9	9.4%
玉名市岱明	麦	5/7	22	0	0.0%
山鹿市鹿央町千田	麦	5/26	96	4	4.2%
山鹿市鹿央町千田	イリアン	5/7	96	2	2.1%
山鹿市菊鹿	麦	6/6	10	2	2.1%
菊池市赤星	麦	5/26	96	2	2.1%
菊池市七城町甲佐	麦	5/26	96	4	4.2%
大津町灰塚	麦	5/26	96	8	8.3%
御船町小坂	麦	5/8	96	5	5.2%
甲佐町糸田	麦	5/8	96	5	5.2%
嘉島町上六嘉	麦	6/4	96	4	4.2%
山都町浜町	イリアン	5/8	18	3	3.1%
あさぎり町上	イリアン	6/6	96	2	2.1%
多良木町多良木	麦	6/6	96	3	3.1%
氷川町若洲	イリアン	6/4	86	2	2.1%
五木村西谷	イリアン	5/7	96	4	4.2%
五木村横手	イリアン	5/7	96	10	10.4%
五木村栗鶴	イリアン	5/7	96	10	10.4%
松島町合津	麦	6/4	40	4	4.2%
農研センター	麦	5/30	62	6	6.3%
<b>すくいとり調査 計</b>			<b>1,925</b>	<b>107</b>	<b>4.6%</b>
ネットトラップ	6/3~4	7	0	0.0%	
	6/5	8	2	2.1%	
	6/6~8	5	1	1.0%	
	6/9	8	0	0.0%	
	6/12	9	0	0.0%	
	6/18	1	0	0.0%	
	6/30	3	0	0.0%	
<b>ネットトラップ 計</b>			<b>41</b>	<b>3</b>	<b>0.4%</b>

表2 ヒメトビウンカ保毒虫率(すくい取り)の推移

調査年	H12	H13	H15	H16	H18	H19	H20	平年 (H12~H19)
保毒虫率(%)	1.1	0.4	1.6	8.3	5.9	5.4	4.6	3.8

注) H17, H14は調査していない

表3 ヒメトビウンカ保毒虫率(ネットトラップ)の推移

調査年	H17	H18	H19	H20	平年 (H17~H19)
保毒虫率(%)	2.9	1.0	6.0	0.4	3.3

注) 調査期間: 4月~6月